

笑楽幸

土佐清水市立清水小学校
校長室便り 令和2年7月16日

目黒の秋刀魚 津呂のカマス

《天高く馬肥ゆる秋。

青い空には、いわし雲がひろがり、のどかな初秋の田舎道。

秋刀魚は、庶民が食べるものとして知られていたが、目黒不動参脂を兼ねて遠乗りしていたときに、ちょうど昼になり、ジュウジュウ焼かれている秋刀魚にお目が留まったお腹のすいたお殿様。

そのなんととも美味しそうな匂い。う～ん。こりゃ、どうしても食べたくなる。

お殿様は、初めて食べた秋刀魚の味が忘れられなくなってしまう。

お屋敷に帰ってか

からも秋刀魚のことが

忘れられず、秋に

日本橋の魚河岸から

最高級の秋刀魚を取り寄せ食べることとなった。

しかしいざ食べる段になって、周りの人が殿様の身体を心配して、十分に蒸し、小骨を取り除いて出した秋刀魚を食べた。当然、蒸して、小骨も取りだしがらの様になった秋刀魚は美味しいはずはありません。

殿様がどこから取り寄せたかと聞き、「日本橋魚河岸にございます」との答えに、「秋刀魚は目黒にかぎる」と答える江戸落語『目黒の秋刀魚』のお話です。》

落語の好きな人でなくても一度は聞いたことがあるのではないかと思います…

みなさんは『秋刀魚(サンマ)』と言うとどんなイメージがありますか。

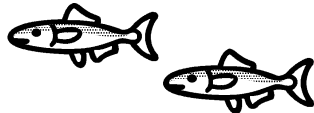
秋刀魚の匂は秋で、脂がのって美味しく秋刀魚。値段も安く手頃で多くの人によく食べられていると言うイメージを持っている人がほとんどだと思います。

そんな秋刀魚ですが、先日のニュースで、今年初めて水揚げされた秋刀魚。今年の初水揚げは、なんと【197匹】というの歴史的不漁というのです。1kg4万円…一匹あたりの値段は5980円。超高級魚となっているのです。

炭火で焼いたときのあの味と匂い。いかに秋刀魚が大好きだと言っても簡単に購入できる代物ではありません。昨年度も不漁でしたが、今年は去年の半分以下です。この高級魚、秋には私たちの口に入るのでしょうか。

さて秋刀魚だけではありません。私も清水出身ですから、釣りは大好きです。年間を通して、釣りには行っています。そういえば、前任の筒井校長先生も釣りは大好きでしたね。どちらの腕が良いとは言えませんが…この時期は、秋刀魚に形は似ていますが、一回り小さなカマス釣りをしています。

例年ならこの時期には、土日の早朝は20センチ以上のカマス釣りを楽しみ、干し物にするのですが、今年はまだ満足したカマス釣りができていません。12日の日曜日に筒井先生から連絡を頂



き、養老の港で50匹ほど釣りましたが、後の日は、一匹たりとも釣ることができていません。

漁師の人曰く、まだ旧暦が5月だから、旧暦の6月後半になれば釣れるかも…とのことですが、これも〈かも?〉です。

本当にどんどん環境が変化してきていることを肌で感じています。

さて今年は…なのか今年も…なのか今後の展開を楽しみにするしかありません。

力を貸して下さい

清水小学校では不思議なことがよく起こるとこれまでも校長室だよりでお知らせをしてきました。

しばらくは迷っていたのですが、2階北側トイレの小便器下の新聞もその一つです。

便器が小学校の中学年には少し使いづらいところもありますが、あまりにも便器を外れて尿らしき水たまりがありました。そのため失敗した時のことも考え、新聞を敷いていましたが、全校朝礼で「トイレは家の顔。みんなできれいに使うことのできるように」と伝え、先週から新聞をのけています。

するとどうでしょうか。新聞をのけてからは、みんなが上手にしてくれているのか、失敗や水たまりを見ることなくりました。

ところが、今度は2階西側の5年生、6年生の教室の間にあるトイレで、尿らしき水たまりを見ることがこのところ頻繁にあります。(拭き取ったり、匂いを嗅いでみるとアンモニア臭の匂いがします。)

ご存じの様に清水小学校では低学年、中学年、高学年で子どもたちの成長に応じてトイレを作っているので2階北側トイレは、基本的に3、4年生が使っています。と言うことは2階西側のトイレは5、6年生が使うことがほとんどです。

そのような利用状況の中で、今回のようなことが何度も起きることに不思議な感じがするのとともに、原因があるかも知れませんが、高学年の男子の中に、このようなことをする人がいるとすれば、本当に残念でしかありません。

前回も書きましたが、何か原因があるからと言ってして良いことと悪いことがあることさえ、判断できないのだろうかという気持ちにもなりません。

5、6年生の利用するトイレだからと言って、しているのは5、6年生とは限らないし、逆に3、4年生のトイレで起こっていることが、3、4年生だけのことでもありません。

ここは今一度、特に男の子の保護者の方には、いっしょに考えて頂ければと思います。未だになくならない、トイレへのトイレトペーパーを丸ごと突っ込むことも含めて、考えていかなければ、このままでは、「見つからなかったからいい」「怒られないからいい」で終わってしまいそうで、怖い気がします。

このままずっと続くようであれば、みんなが気持ち良く生活できる環境ではありませんので、他の対応策も考えていく必要があります。

学校としては、休み時間や時間中にも確認しながら、対応はしていますが、十分とは言えません。保護者の方には状況を聞いて頂くだけでも、子どもたちも意識できるのではないかと思います。

ぜひいっしょに考えて下さい。力を貸して下さい。

